

# 第16回全日本中学生野球選手権大会 ジャニアーナリシカシフ。

大会約款・特別規定

※5月12日実務者会議承認稿※

2022年5月12日

# 大会特別規定

## 第16回全日本中学野球選手権大会 ジャイアントスカッズ。

### ■大会約款(大会運営に関する特別規定)

本大会は、全国の少年硬式野球団体同士が交流することにより、少年野球の普及と発展を図ることを目的とする。「第16回全日本中学野球選手権大会 ジャイアントスカッズ」の試合は、2022年度公認野球規則、ならびにアマチュア野球内規(2022年)、および下記の大会特別規定を適用する。また、試合の円滑な進行ならびにトラブルの解決に当たるため各球場ごとに技術委員(テクニカルコミッティー)を置く。技術委員には日本野球連盟・規則審判委員を任命する。

- ① 本大会に参加できる選手は所属団体の規定を満たすものとする。ただし、本大会の参加資格は、2022年5月末日の時点で各所属団体に登録を完了したチーム(監督、コーチおよび選手)とする。
- ② チームは、単独チームとし、18名以内の選手で編成し、ベンチに入る監督1名、コーチ2名以内(マネージャー、スコアラーを含む)、給水係1名、計4名(18歳以上)までとする。本大会登録締切日以降の選手、監督の変更是原則として認めない。ただし、登録された選手が怪我や病気のため出場できなくなった場合は、登録選手変更届に医師の診断書を添付の上、大会前日の監督会議に申し出て承認されれば、選手の変更ができる。コーチ(マネージャー、スコアラー)、給水係に関しては前日の監督会議に申し出ること。
- ③ 選手、監督、コーチ(マネージャー、スコアラー、給水係は除く)は同一のユニフォームを着用すること。なお、背番号は所属の団体の規定に従う。
- ④ 各チームは必ず成人である引率者が、大会中(集合日から解散まで)、選手の行動ならびに観客席での応援などに対して責任を負うこと。
- ⑤ ゴミは球場施設内に捨てず、必ず宿舎に持ち帰ること。スタンドで応援する選手、家族にも徹底すること。ただし、東京ドームでは所定のゴミ箱を利用する。
- ⑥ 傷害処置については、大会中の負傷または疾病に対して応急処置は施すが、それ以上主催者は責を負わない。

## ■競技に関する特別規則

- ① 各チームの監督と主将は試合開始予定時刻40分前、または前試合4回終了後(コールドゲームのときは試合終了次第)、所定のメンバーリストを競技委員に提出し、同時に審判員立会いのもとで攻守の順を決める。  
なお、この際、所定の投手投球数記録表(投手ごとに前試合およびまたは前日までの投球数を記載)も併せて提出すること。  
また、大会本部は提出されたメンバーリストと登録原簿との照合を行うとともに、試合開始前に用具の点検も行う。
- ② 各試合は7回戦を行い、4回終了をもつて正式試合とする。  
(4回表を終わった際、または4回裏の途中で打ち切りを命じられた試合で、後攻チームの得点が先攻チームの得点よりも多いとき。)  
試合成立後に、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となつた場合、両チームが完了した均等回の総得点で勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバーリスト全員の抽選とする。なお、1回戦に限つてはこれを適用せず、特別継続試合により勝敗を決する。ただし、大会の運営上特別継続試合を実施せずに抽選で勝敗を決する場合もある。

- 試合成立前に、上記の理由(降雨や視界不良)により試合続行が不可能になつた場合は、特別継続試合とし、大会本部が指定した日時、場所で、中断した状況で再開する。
- ③ 4回終了以降10点差以上の場合、コールドゲームとする。(ただし、決勝戦にはコールドゲームを適用しない。)
- ④ 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長10回あるいは試合開始から2時間を超えては(どちらか早い条件を採用)新しいイニングに入らず、以下の方法でタイブレーク方式を実施する。勝敗が決するまで行う。  
なお、決勝戦については、上記ルールが適用され、なおかつ試合開始から2時間20分を超えて新しいイニングに入らない。それでも同点の場合は両チーム優勝とする。

### ＜タイブレーク実施細則＞

#### (1) 延長戦に関する特別規則

- (イ) 延長10回あるいは試合開始から2時間を超えて(いずれか早い方)、両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、1アウト走者満塁の状態から行うものとする。  
(ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。  
(ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が二塁走者、一塁走者の前の打順の者が三塁走者となる。  
(二) この場合の代打および代走は認められる。

#### (2) チームおよび個人記録

チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。

##### (木) 投手成績

・規定により出塁した3走者は、投手の自責点とはしない。

・完全試合は認めない。

・無安打無得点試合は認める。

##### (ヘ) 打撃成績

・規定により出塁した3走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。

・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などはすべて記録する。

- ⑤ 投手の投球数に関しては、「中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン」に基づくものとする。
- (1) 1日最大80球以内とし、連続する2日間で120球以内とする。連続する2日間で80球を超えた場合、3日目(または投球を禁止する)。
- (2) 3連投(連続する3日間で3試合)する場合は、1日の投球数を40球以内とする。4連投(連続する4日間で4試合)は禁止する。
- (3) 1日80球投球後、翌日投球を休めれば3日目は80球の投球を可とする。
- (4) (1)～(3)を基本原則とするが、打席の途中で制限数がきた場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数には投球数にはカウントしない。
- (5) 連続する2日間で80球を超える投球をした投手並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても出場できない。
- (6) ボークは投球数としない。
- (7) 雨などで特別継続になつた試合は投球数にカウントする。
- (8) 前のイニシグに制限数に達し、投球できない投手がファウルラインを越えて準備投球に向かつた場合でも、その時点で投手の交代を認める。  
(公認野球規則5.10(i)よりも投球数制限を優先する)
- (9) 万が一、制限数を超えて投じられた投球も有効とする。

### ジャイアンツカッズ 投球数制限のケース

	初日	2日	3日	4日	5日	予備
投手A	80	40	-	80	40	-
投手B	40	40	40	-	40	80
投手C	-	20	60	-	80	40
投手D	-	-	40	20	40	-
投手E	40	-	40	50	-	80
投手F	80	-	80	-	80	-

- ⑥ 特別継続試合時ににおける投球制限は、前項⑤を適用する。但し、投手投球数記録表には一時停止試合の記録を追記する。
- ⑦ 選手が打席に入るときは、必ず両耳付きヘルメットをかぶること(次打者を含む)。また、走者も危険防止のため必ず着用すること。  
なお、捕手も防護用ヘルメットと所定の防具を着用すること(練習時も含む)。
- ⑧ 特別代走を認める。これは、特別な事情(死球による負傷など)により、一時的に休めば試合に出場できると審判員が判断したときに限り適用できる。この場合、その打者の最も近い打撃の完了した選手(投手を除く)を特別代走者とする。
- ⑨ 本大会では、金属バットならびに金属と他の材質との接合バットの使用を認める。
- ⑩ 監督(コーチ)が一試合(7イニング)に投手のもとへ行ける回数を2回までとする(投手を交代させた場合は回数として数えない)。監督(コーチ)が2度投手のもとへ行った後、3度目に行けば、そのときの投手は自動的に交代しなければならない。この場合、他の守備につくことはできるが、その試合で投手に戻ることはできない。  
また、監督(コーチ)が投手のもとへ行つた場合を除き、守備側のタイムは1試合(7イニング)につき2回までとする。(捕手は除く)  
攻撃側のタイムは1試合(7イニング)につき2回までとする。
- 延長回及びタイブレークに入った場合は、それ以前の回数に関係なく、  
監督(コーチ)が投手のもとへ行ける回数は3イニングにつき1回とする。  
守備側のタイムは3イニングにつき1回とする。  
攻撃側のタイムは3イニングにつき1回とする。
- ⑪ 監督またはコーチが同一投手のもとへ行くことに関して1イニングに2度目にに行けば、投手は交代することとするが、野球規則5.10(l)にもかかわらず、他の守備につくことができる。ただし、その試合の投手に戻ることはできない。
- ⑫ 規則5.10(d)【原注】前段のうち「同一イニングでは、投手が一度ある守備位置についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることもできない」は適用しない。  
投手に戻つてから投手以外の守備位置に移ることもできない」は適用しない。
- ⑬ 投手の準備投球は、原則として6球以内とする。
- ⑭ その他特に定めのない限り、公認野球規則を適用する。

## ■大会特別規定・補則

- ① 各チームは試合開始60分前に試合会場へ到着すること。やむを得ない理由で遅れる際は、大会事務局へ連絡する。
- ② 球場に到着したチームは、速やかに大会本部にその旨を報告し、メンバーリストを受け取ること。
- ③ 各チームはメンバーリストを受け取る際、大会本部の審査担当者から資格審査を受けること。
- ④ ベンチは組み合わせ表の上段(左側)のチームを一塁側とする。
- ⑤ グラウンドインから試合終了まで、監督、コーチ、スコアラー、給水係、登録選手以外はベンチに入ることができない。
- ⑥ グラウンドインしたチームは競技委員の指示のもと、速やかに試合前の練習を行うこと。グラウンドルールがある場合はそれに従うこと。
- ⑦ 試合前のシートノックは5分間とする。なお、守備位置につかずシートノックの補助をする登録選手はヘルメットを着用すること。
- ⑧ 試合をスピードイーに行なうため以下の項目を守ること。
  - (a) 攻守交代時に守備に移るチームが速やかにポジションにつくことにはもちろんのこと、攻撃に移るチームも第一打者とベースコーチ(ミーティング(円陣))に加わらず、所定の位置に速やかにつくこと。
  - (b) 投球を受けた捕手は、速やかに投手に返球し、これを受けた投手は、ただちに投手板を踏んで、投球位置につき、捕手からのサインを受けること。
  - (c) 打者は、みだりにノッターボックスを出ることは許されない。たとえ、タイムを要求しても審判員がタイムを宣告しないときはインプレーとする。
  - (d) 次打者は、必ずネクスト・バッターズサークルに入り待機すること。
  - (e) 捕手は、投手に返球したり、野手に声をかけるために、一球ごとにホームプレートの前に出ないこと。
- ⑨ コーチボックスには、監督、コーチ、選手のいずれかがに入る。必ずヘルメットを着用すること。(選手は両耳ヘルメットを着用)
- ⑩ 規則6.04に規定のとおり、監督、コーチ、選手、スコアラー、マネージャー等いずれも相手選手を惑わすような行動をとてはならない。
- ⑪ 手袋、リストバンド、リストガード、エルボーガード、フットガードの使用を認める。打者が走者になつた場合、これららの着脱のためだけのタイムは認められない。
- ⑫ サングラスは、防眩のために野手に限り身につけることができる。ただし、ミラーレンズ、ガラスレンズは禁止とする。また、首輪(リング)については、ユニホームの外から見えないように身につけるべきものとし、露見するものは禁止する。
- ⑬ 試合中、次の試合のチームはグラウンド内で投球および送球練習をしてはならない。
- ⑭ グラウンド内のブルペンで投球練習を行うときは安全対策上、打球監視員を必ず1名置くこと。試合中の投球および送球練習は、ブルペンにて1組とする。
- ⑮ バットボーイ、ボールボーイ、シートノック補助員は登録選手が務め、両耳ヘルメットを着用すること。
- ⑯ ダブルヘッダーが実施される場合、大会本部及び各球場の競技責任者の指示に従うこと。

### ■技術委員会細則

本委員会は、全日本中学野球選手権大会の大会約款および大会特別規定補則に則り、試合が行われることを確認するため、技術委員を試合に各1名派遣する。

技術委員は下記の事項を遵守する。

(1) 試合前

- ・技術委員は、第一試合の試合開始の50分前には球場に到着し、球場担当競技委員、審判委員、大会事務局員を集め、「大会運営ミーティング」を開催する。
- ・技術委員は、試合を行う各チームから提出されたメンバー表と登録原簿との照合が、速やかに大会本部(競技委員および大会事務局員)によって行わされているかを確認する。

・この際、所定の投球数申告用紙が提出されているかも確認する。

- ・大会約款・競技に関する特別規則②から④の唯一の決定者は、その試合の球審であるが、球審が最終裁定を下す前に、技術委員は、あらゆる場面で意見を述べることができる。

(2) 試合中

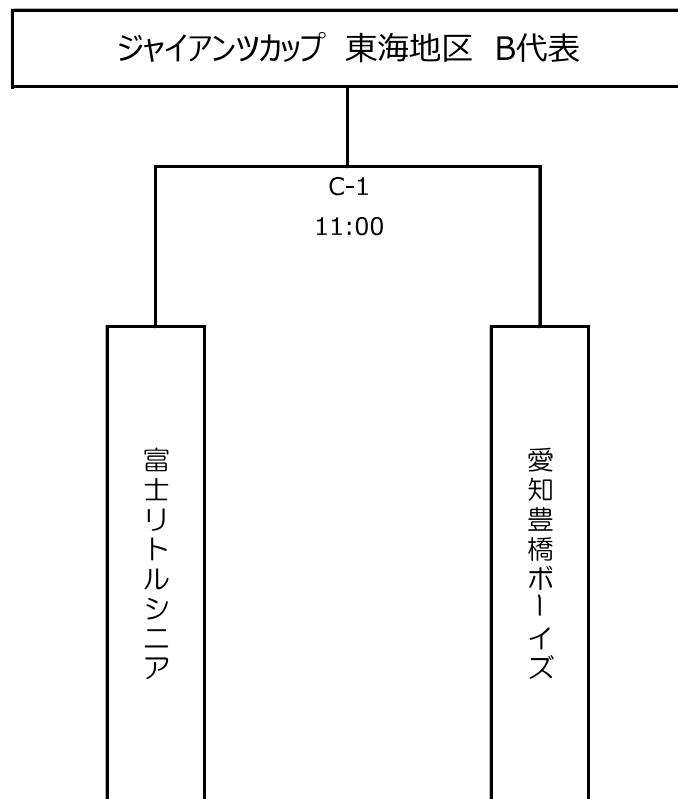
- ・審判委員の下した判定にはいかなる者も抗議できないが、ルールの適用に疑義申し立てがあり、かつ審判委員が公認野球規則や大会約款等に反する裁定を行った場合は、速やかに技術委員は、競技委員を通じて、当該審判委員に正しい裁定を知らせる。この裁定を最終判断として、試合を続行させる。
- ・なお、この最終判断に納得せずに、試合進行を妨げる者があれば、技術委員はこの者を球場から除き、試合を続行する。
- ・この場合、技術委員は所定の「報告書」を速やかに技術委員長に提出すること。
- ・このような裁定に対して、試合中、試合後もいかなる者も疑義は申し立てられない。

## ジャイアンツカップ 東海地区予選 B 2022

1日目 令和4年7月2日（土） A 球場 富士リトルシニア専用球場  
アクセス 静岡県富士市五貫島  
m p 72137618 \* 63  
開門 9:00

予備日 令和4年7月3日（日） A 球場 富士リトルシニア専用球場  
アクセス 静岡県富士市五貫島  
m p 72137618 \* 63  
開門 9:00

---



## 2022ジャイアンツカップ東海地区予選B開催要項

- 1 開催時期 7月2日（予備 3日）
- 2 参加チーム 東海A 2位チーム 静岡県 1位チーム
- 3 試合形式 トーナメント方式
- 4 球場 1日目 富士リトルシニアグラウンド  
予備日 富士リトルシニアグラウンド
- 5 参加費 静岡県野球協会より 20,000円  
会計担当 松尾 勝
- 6 予算 球場使用料 1球場 20,000円 20,000円  
審判費（食事代込） 1日 4人 5,000円 20,000円  
コロナ対策費 2,000円/日 2,000円  
計 42,000円
- 7 試合球 主催者側より提供
- 8 選手登録 ジャイアンツカップ規定による（選手 18名） 5月末登録済選手である。  
エントリー表提出 当日3部……各リーグのオーダー表とする  
指導者、選手共連盟証明書により確認ができること
- 10 その他 放送、グランド整備等は保護者にて（放送は各チーム）  
飲み物・茶菓子は本部に準備
- 11 審判 決勝 ボーイズ 2 シニア 2名 ヤング 1名
- 12 担当役員 杉浦理事待遇  
松尾企画運営部長  
静岡県支部 矢田支部長（ボーイズ）

□ジャイアンツカップ予選のグラウンド経費について

① グラウンド使用料

- (1) 公営球場については、各自治体で決められている球場使用料とする。通常、石灰・砂等は常備されているが、常備されていない球場については別途相談。
- (2) 各チームの専用グランドについては、各支部料金／日とする。石灰・砂
- (3) 代等の費用については、  
　　グラウンド使用料に含むものとする。
- (4) 領収書は、公営球場は自治体の領収書、チーム専用グラウンドについてはチーム領収書を添付してください。

② 昼食代について

- (1) ブロック役員、各支部長、リトルシニア、ヤング、グラウンド責任者、審判等の個数分を用意してください。
- (2) 当日の配置人数については、木曜日までにブロックより連絡します。
- (3) 金額については、税込800円／個 以内とする。
- (4) 領収書は、購入した店舗の領収書を添付してください。

③ 飲物代・茶菓子・備品代等について

- ブロック役員、各支部長、リトルシニア、ヤング、グラウンド責任者、審判等の飲物・茶菓子の用意をしてください。
- (1)飲み物はコロナ対策としてペットボトルを準備ください。
  - (2)費用については、下記の一法律額とする。  
　　一律 1,000円／試合 (2試合の場合は2000円／日)
  - (3) 領収書を準備しますのでサインをお願いします。

④ コロナ対策等消毒用費用について

- (1) コロナウィルス感染拡大防止策として、消毒用アルコール等を用意してください。
- (2) 費用については、2,000円／日とする。
- (3) 領収書を準備しますのでサインをお願いします。

⑤ その他について

- (1) 高校グランド借用等御礼のための手土産等については、店舗の領収書を添付してください。
- (2) グランド終了後速やかに、グラウンド担当経費明細報告書と領収書を提出してください。
- (3) 書類を送られる方は、レターパック等で送ってください。レターパック等費用も請求に含めて頂いて結構です。  
　　その場合、領収書を添付してください。

⑥ グラウンド当番費用郵送先

〒491-0838 愛知県一宮市猿海道2-12-18  
中日本ブロック会計部長 脇田 勝

## □その他ジャイアンツカップ予選取り決め事項

① 役員及び審判配置は別途連絡

② 試合球について

(1) ジャイアンツカップ事務局にて支給します

(2)各グラウンドに試合数×6 個を準備します。

(3)ファールボールでの紛失、ホームランボールについては事務局にて補充します。

③ 熱中症対策特別規定

(1) 球場 責任者の判断により、(2回・4回・6回裏終了時) 5分間のインターバルを設ける

(2) 上記のインターバルを設けた場合は試合時間にカウントしない

④ 大会開催運営に関するガイドライン（新型コロナウィルス感染拡大防止対策）

ジャイアンツカップ予選を行うにあたり以下の事項、対策を講じる事を運営の基本とし、各連盟 通達及び各地域の状況、各会場、球場の対策方針に従い行うこととする。

尚 大会運営役員、審判、参加チームスタッフ、選手、保護者の全ての者に於いて 当日の検温（37.5 度以下）並び体調に異常が無いか確認をし 各自出来る限り 間隔をあけマスクを着用し 密集しないようにする。

参加チームは各連盟の名簿を提出し責任者は体調不良者がいないことを確認する

⑤ 大会運営方法

(1) 運営（球場）責任者、及び運営役員 3名

放送 1～2 名（各チーム） 記録 1 名（投球数） グランド整備等補助者 各チーム 5 名程度

(2) 試合間隔は試合時間含め 3 時間を取り 密にならないよう運営する。

(4) 試合ベンチはグランド内にもスペースを広げ、防球ネット等で安全対策を行い  
密度が高くならないように設営する。

(5) チーム到着時、帰途時の挨拶は「無し」とし メンバー表等の提出のみとする。

(6) 試合前のメンバー表交換の集合は 球場責任者、審判、監督、主将で行う。

(7) 接待は「無し」とし 飲料（個別ペットボトル）、弁当等は 1ヶ所に準備し各自で取りに行くこととする。

(8) 本部席、ベンチ、トイレに消毒液、または手洗い用ハンドソープを設置し、試合終了後、ベンチを消毒する。

(9) 試合会場入りは 1.5 時間前とし、試合終了後は速やかに会場より退出する。

\*大会主催者は検温計、ハンドソープ、消毒液、ダスタークロス等の準備をする。

(10) 雨天時の開催有無は当日 7：00 までに判断し各連盟に電話連絡します。

⑥ 試合について

試合開始の審判による両チームの挨拶は、声を出さず脱帽、礼のみとする。監督・コーチはベンチ前にて挨拶。

ホーム前での試合終了時の挨拶も同様に声を出さず脱帽、礼をもって挨拶とする

(1) ベンチ内では出場している選手もできる限りマスク着用を心がけるとともにベンチ内では全員出来る限り  
人との間隔をあける

- (2) メガホンの使用や大声での指導は禁止
- (3) 試合開始、終了の挨拶は声を出さず 礼のみで行う。
- (4) 飲み物は、一人一人のペットボトルや水筒を使いチームジャグでの回し飲みは禁止
- (5) 捕手のマスクは、交代時に必ずアルコール消毒を行う。また、キャッチャー道具の補助者は必ずマスク着用
- (6) 観客席の保護者等大会参加者は座席を開けて座るなど密にならずマスク着用、メガホンや大声での声援は禁止する。球場責任者等による指導に対して聞き入れない場合は役員・球場責任者が協議を行ったうえで大会参加を取りやめていただき退場処分とする

#### ⑧ 参加チームについて

- (1) 会場入りするチーム構成はベンチ入りの監督、コーチ、マネージャー、選手 18 名以内
- (2) 保護者の応援はマスク着用し観客席にて間隔を取り、声を出さないこと。
- (3) チームの飲料等は個人水筒、専用ペットボトルで行いチームのジャグ等禁止とする。
- (4) チーム役員、監督等の接待も禁止とする。
- (5) 昼食を取る場合 対面にならないよう 2 m 以上の間隔を取り会話を控え最低限の時間で済ませる。
- (6) 他チームとの必要外の接触は避ける。
- (7) 大会会場へは 1.5 時間前以上早く入らない。また試合終了後は速やかに帰途に着くこと。
- (8) 選手移動については全ての車両に於いて こまめな換気を行い密閉、密集、密接にならないよう注意する。
- (9) 大会（試合）に参加するにあたり、チームの基本的な対策及びハンドソープ、消毒液など備品は各チームで準備し、選手、スタッフ、保護者の管理はチームで責任をもって行うこととする。
- (10) エントリー表は各チーム試合当日持参し本部に提出する。

以上が大会のガイドラインであります。感染のリスクがゼロではありません。

各チーム参加選手、保護者にはよく説明を行い同意、承諾の中で参加、活動をお願いいたします。

またチームからの強制参加及び活動は禁止致します。

尚、大会開催中に於いても感染状況が悪化もしくは行政の指導があった場合は大会及び試合を打ち切ることがあります。

四日市霞ヶ浦球場をご利用の皆様

6/25（土）に四日市霞ヶ浦 1・3 野球場を利用する場合別紙の名簿が必要になります。  
各チームに於かれましてはき「四日市市運動施設利用届（個人・団体）」に必要事項を記入の上受付にご提出ください。  
一般の応援者につきましても受付にて「四日市市運動施設利用届（個人・団体）」記入いただき球場責任者は利用届けを事務所に提出ください。